

# 2025年度 すくわくプログラム ポピンズナーサリースクール馬込 【1月】活動報告書

## 【活動テーマ/テーマ設定背景】

- テーマ：世界の国ぐにの楽器に親しみ、音や表現の違いを楽しむ
- 設定背景：日頃から楽器遊びや音遊びを楽しむ姿が多く見られ、「このがっきはどこのくにだっけ」と、友だちと確認する声が聞かれるようになっていた。また、生活発表会に向けて仲間と音を合わせたいという期待も高まっていた。そこで、世界の国々の楽器に触れ、音やリズム、文化の違いを知る経験を積み重ねることで、多文化への興味を深めるとともに、生活発表会での演奏を学びの集大成とすることをねらいに設定した。

## 【活動のために準備した素材や道具、環境の設定】

- ・世界の楽器の写真や動画
- ・マラカス、ギロ、トライアングル、太鼓、鍵盤ハーモニカ、木琴など
- ・楽器を自由に試せるコーナー設定

## 【活動内容/お子さまの声や姿や保育者との関わり】

- ・世界には様々な国があり、その国ごとに特徴の楽器があることを知る
- ・マラカスやギロなど、実際の楽器に触れ、音の出方や響きの違いを感じる
- ・「このおと、おもしろい」など、感じたことを言葉にして共有する
- ・生活発表会に向けて楽器を選び、リズム遊びや合奏を楽しむ
- ・音を合わせる中で、友だちの音を聞きながら演奏することの大切さを知る

世界の国ぐにの楽器に興味津々で、「どこのくにだっけ」「どんなおと？」と、自ら手に取って試していた。マラカスやギロの音の違いに気付き、「シャカシャカするね」「カエルみたい」と表現する姿もあった。合奏では、友だちの音に耳を傾けながらリズムを合わせようとする姿や「ここはこういうふうにおとをだしたほうがいいかな？」と、話し合う姿も見られ、生活発表会に向けて気持ちを一つに取り組んでいた。



## 【振り返りをふまえた気づき】

楽器遊びから一步広げ、世界には様々な国があり、それぞれに楽器や文化があることを知ることで、お子様たちへの興味が「音」から「国」へとつながっていった。

また、合奏を通して、自分の音だけでなく、友だちの音を聞き、合わせようとする姿が増え、協力的に表現する力が育ってきていると感じた。生活発表会という目標があることで、一人ひとりが役割を意識し、意欲的に活動に参加する姿が見られた。